

平成29年4月 議会月例報告会

平成29年4月27日
建設課

□報告事項名

第1 町営成美団地の地盤調査結果について

・住宅改修工事を開始したところ、束石の陥没が見つかり、その原因・規模を調べたところ、調査結果がでました。

1 調査内容

- (1) ボーリング 2ヶ所、延べ10m
- (2) 試掘調査 掘削・土質調査・レーザー測距儀等
- (3) 電磁波レーダー探査 11ヶ所、570m
- (4) 解析等

2 調査結果

- (1) 6号棟については、昭和61年の改良埋土（35cmから60cm圧）の下に空洞が見られる。下の粘性土層が圧密沈下したもの。
- (2) 4号棟については、特に何も変化が見られない。
- (3) 1～3、5号棟については、旧水路へ細粒分が吸い出され、地盤の沈下が発生し、地表にも変状が発生。

3 対策案

- (1) 6号棟について、空洞に※グラウトを注入（建物に不具合の無い場合）。
- (2) 4号棟について、特に何も必要ない。
- (3) 1～3、5号棟について、現状のままでは、沈下修復方法の各種工法を検討したが、いずれも不適合。全面的な改良が必要。

4 今後の対応

・対策について、設計・工事費等の見積もり及び期間の概算を出し、事業の対応を行うと共に、地元区長と情報共有しながら、団地住民説明会を開く。

【別途添付：調査概要図】

※グラウト：流動性の充填材

□報告事項名

第2 別所中線・東線道路改良工事 未施工対応について 別紙のとおり

2) 電磁波レーダー探査

電磁波レーダー探査の結果より、1～3号棟の旧水路沿いに強い反射波形が連続して認められることから、その代表地点として以下に示す3号棟（3-2宅 勝田川側）位置をボーリング BP-2 位置に選定した。

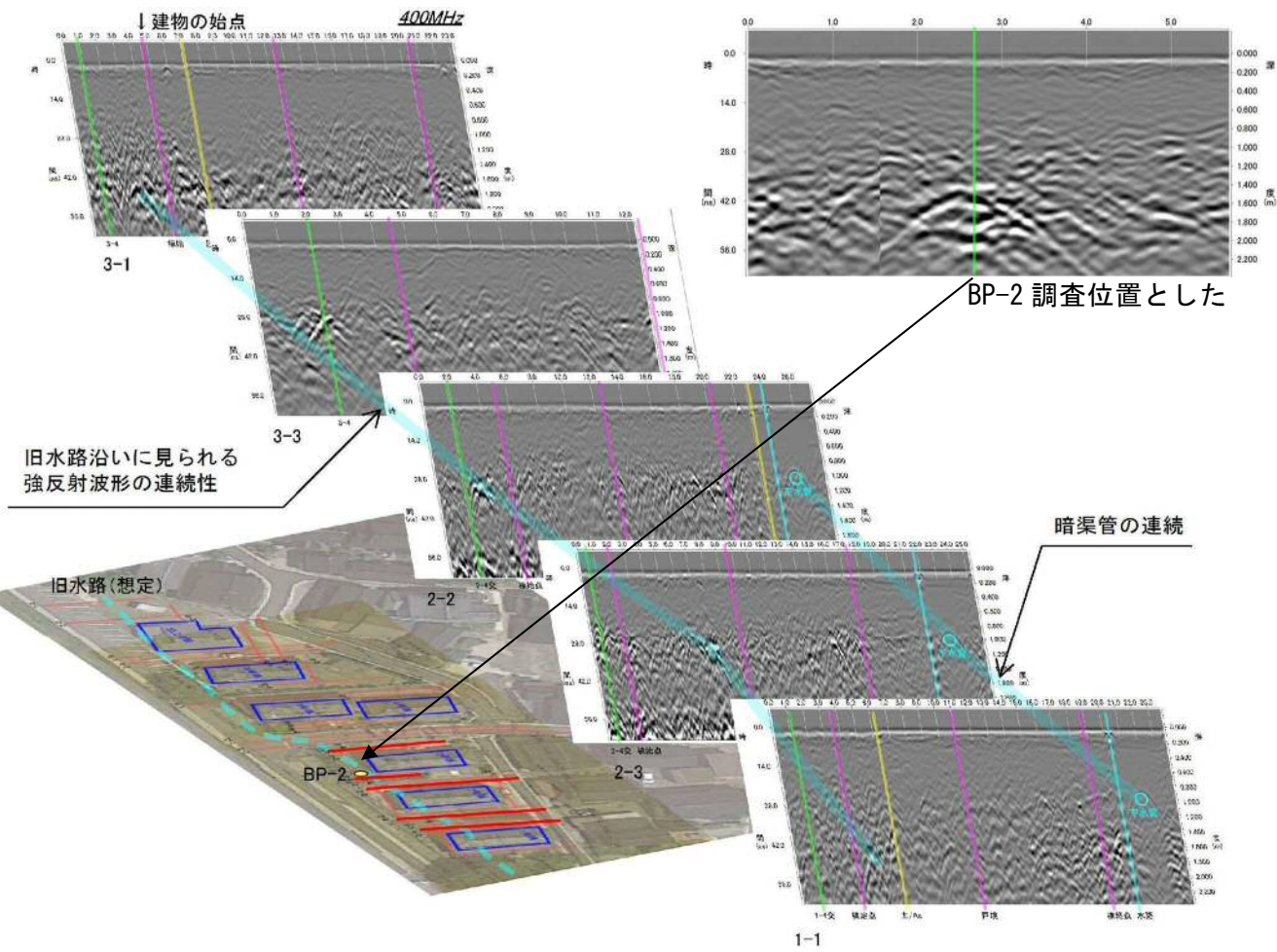


図 5-2 電磁波レーダー探査結果（1～3号棟の解析結果図 ※イメージ図として）

3) 機械ボーリング

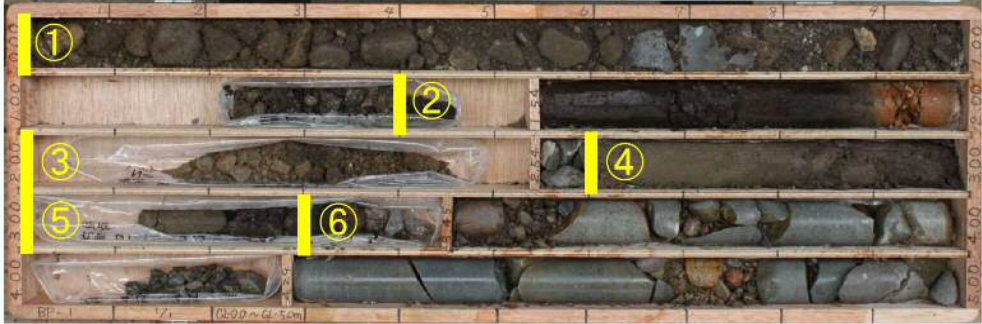
表 5-1 調査位置の選定理由

孔名	調査位置	調査位置選定理由
BP-1	6-1 宅(玄関前)	改良工事の施工時に陥没(空洞)が認められた 6-1 宅位置における地層構成の把握を目的とした。 地元へのヒアリングにより、昔は畑地であったと聞いている地点。
BP-2	3-2 宅(勝田川側)	現地踏査の結果、地表に多くの変状が認められた 1 号棟から 3 号棟の川側について、既存資料および電磁波レーダー探査の結果から旧水路(河道)の存在が推定されたので、その水路を起因とした吸出し等による沈下を原因として考えた。よって、水路沿いにおける地層構成を把握することを目的とした。 調査位置は住居者に影響がない位置(3-2 戸は入居者なし)を選定した。
試掘-1	6-1 宅(庭)	BP-1 孔で認められた GL-1.4～1.9mの軟質な有機質粘土が 6-1 宅内の陥没の原因である可能性があることから、6-1 宅内の陥没位置との平面的な連続性を確認するために、平面上で陥没位置を挟み 6-1 宅の庭側で実施した。



図 5-3 調査位置図

【BP-1 (6-1 宅玄関前)】



【コア観察結果の抜粋】

- ① 埋土（シルト混じり砂礫）：人工物片（プラスチック）混入の混入。玉石多い。
- ② 旧耕作土（砂混じり粘土）：軟質な有機質粘土主体。

【BP-2 (3-2 宅 2 号棟寄りの勝田川側)】



【コア観察結果の抜粋】

- ① 埋土（礫混じりシルト質砂）：粒径不均一な砂と細粒分及びφ3 cm程度の礫よりなる。人工物片（瓦片、アスファルト片）を混入。
- ② 埋土（玉石混じり砂礫）：コンクリートがらとアスファルトがらを混入。空隙多い。

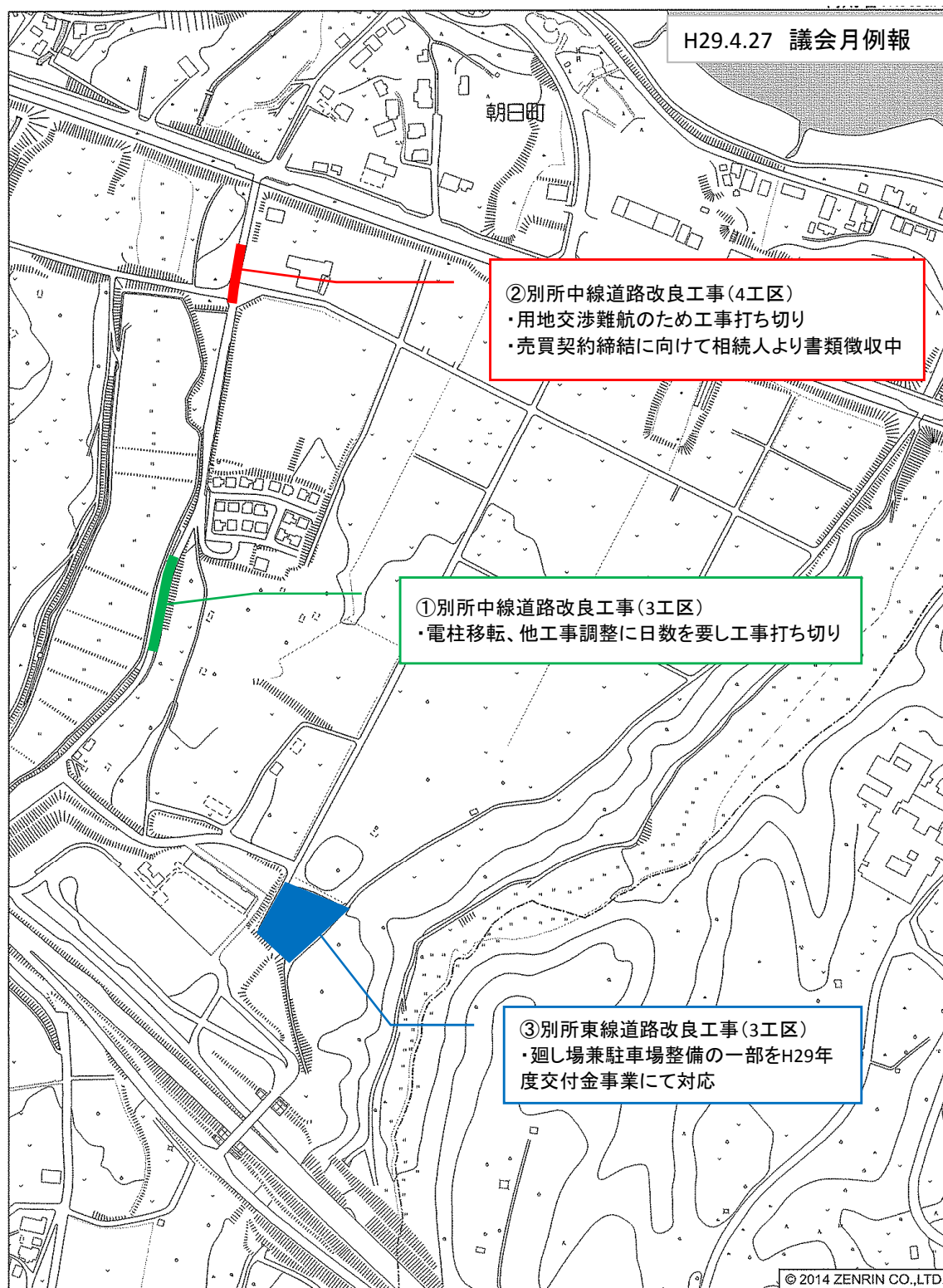
【試掘-1 (6-1 宅庭側)】



【コア観察結果の抜粋】

- ② 埋土（粘土混じり砂礫）：ビニル片、プラスチック片、ガラス片など人工物を混入する。

別所中線・別所東線道路改良工事 H28年度未施工対応



NO	箇所	対応	金額(円)
①	別所中線道路改良工事(3工区)	H29年度へ繰越し、随意契約にて施工	11,000,000
②	別所中線道路改良工事(4工区)	H29年度へ繰越し、用地買収完了後に施工	9,000,000
③	別所東線道路改良工事(3工区)	H29年度交付金事業にて施工(ただし、全額配分されていない)	12,000,000